

見本



1. 家庭とは？

子どもが家で身につけたことは、生涯、ずっと生き続ける。

- 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思いますか？……8
- 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。……9
- ◆マンガ「本和加家の場合」……10
- 子育ては母親の仕事、そう思っている お父さんは要注意。……11
- 話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない。……12
- 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。……13
- これまでの常識では通用しない問題が増えている。……14
- あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。……15
- ◆マンガ「本和加家の場合」……16



2. 子どもの生活リズム

生活リズムは、子どもの健やかな成長のためのエネルギー源です。

- 早寝早起き朝ごはん……18
- 子どもの健やかな成長のために、睡眠は大切です。……19
- 1日のスタートは朝食から。……20
- 「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進……21

3. しつけ・子どもの非行

正しいしつけは子どもへの大切な贈り物。

- 子どもが相談したくなる親はどこが違うんだろう。……23
- 子どもはSOSがうまく言えない。……24
- 万引きはゲームじゃない、犯罪だ。……25
- 酒・タバコぐらいは大したことではない、とっていませんか。……26
- 「覚せい剤には手を出さない」と、子どもが自分で決めるために。……27
- ずいぶん厳しく叱られたけど、今ではそれに感謝しています。……28
- 感情にまかせて叱ることとしつけとは違う。……29
- 子どもを虐待から守るために。……30
- 特別な支援の必要な子どもがいます。……31
- 言うことを聞かないのは、子どもの自立が始まった証拠。……33
- 幸せとは手に入れるものではなく、すでにこうして生きていることかも。……34



4. 家庭でのルール

ルールを守るものは、ルールに守られる。

- ルールってだれのためにあるんだろう。……36
- 子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない。……37
- テレビやビデオは使しよう。……38
- 携帯電話やパソコンは使しよう。……40
- 情報モラルについて家庭で話し合しましょう。……41
- 子どもを有害な情報から守るために。……42
- 家事を手伝わせたなら、子どもがしっかりしてきた。……43
- ◆ マンガ「本和加家の場合」……44
- 子ども部屋を与えるときには、そのルールも与えよう。……45



5. 安全と健康

心も身体も健康でいよう。

- 危険を知ることが、身を守ることにつながる。……47
- ◆ マンガ「本和加家の場合」……48
- 食生活の乱れは、心身のバランスも乱す。……49
- 一緒に食事をするって、とても大切。……50
- 子どもたちに体力をつけさせよう。……51



6. 遊び・ゆとり

遊びが子どもを大きくする。

- 子どもは遊びが仕事です。……53
- 「疲れた」「疲れた」と言う子どもが増えている。……54
- 人生で大切なことは、自然の中で学んだ。……55
- 放課後や休日に子どもたちの多様な活動ができる居場所をつくろう。……56
- 年上・年下の友達と遊ぶことは、とても大切なことだ。……58
- 家でやる年中行事にも、深い意味があるんだね。……59



7. 思いやり

愛は、家庭で教わらなかったらよそで学ぶのはムズカシイ。

- ピンチのときこそ、家族の絆が試される。……61
- 親が子に期待するのと同じくらい、子は親に期待している。……62
- 子どもは親の姿を見て学んでいく。……63
- 人からももらう幸せだけでなく、人のためにできる幸せもある。……64
- いじめは人間として恥ずかしい行いだ。……65
- みんなそれぞれが世界でたった一つの命なんだ。……66
- だれもがよりよく生きようとしている。……67
- いい本に出会うことは、いい人に出会うことに似ている。……68
- 人を差別するような子にはなってほしくない。……69

8. 個性と夢

人は夢を育て、夢は人を育てる。

- 夢をもつと、人は強くなる。……71
- ◆ マンガ「本和加家の場合」……72
- 自分で考え自分で行動できる人に育ててほしいなら。……73
- 同じ子どもなんて一人もない。……74
- ダメなところを責めるより、良いところを増やしていこう。……75
- 学校へ行けない子どもの苦しさを、どんなだろう。……76
- 子どもにとっての「いい学校」って何だろう。……77



マンガとイラスト・高沼貴子

見本

1. 家庭とは？

子どもが家で身につけたことは、
生涯、ずっと生き続ける。



- 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思いますか？
- 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。
- 子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。
- 話せばわかるとは限らないが、話さなければもつとわからない。
- 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。
- これまでの常識では通用しない問題が増えている。
- あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。

1. 家庭とは？

子どもたちのいちばんの願い、
それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっとのぞむことがあるか」と、子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでも一番多かった答えは、「家族のみんなが楽しくすごす」でした。

そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノを与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は、家族が意識的に協力しあわなければ、なかなか得られません。

子どもにとって、こころ安らぐ居場所になっているかどうか、家庭を見つめ直してみましよう。



安らぎのある楽しい家庭をつくる

1. 家庭とは？

自分を大切にできないならば、
子どもを大切にすることもできない。

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもにも伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦や家族で助け合ったり、子育てサポーターや子育てネットワークといった育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましよう。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。



親の笑顔が子どもの笑顔をつくる

見本

1.家庭とは？



本和加家の場合



1.家庭とは？

子育ては母親の仕事、 そう思っているお父さんは要注意。

家庭での父親の存在感が薄いことが指摘されています。
母親だけに子育ての責任がゆだねられ、父親の理解や協力が
ないままでは、母親の子育てに対する不安感や負担感が増したり、
母と子の関係が密着しすぎたりすることにつながる心配があります。

父親がもっと家庭の中での役割を積極的に担い、「しつけ」についてよく話しあっていくことが大切です。

そのためにも、お互いに尊重しあい、子どもの前で相手をけなしたり、見下したりすることのないように気をつけましょう。

見本



共同して子育てをする

1. 家庭とは？

はな かせば わかるとは 限らないが、
はな 話さなければ もっと わからない。

ふうふ あいだ おやこ あいだ かいわ ふ 夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。ほんとうは、何でも話せる仲でありたいものです。

ひび かいわ ふ 日々の会話を増やすには、できるだけ一緒に食事をして、お互いにその日にあったことを話すとか、一緒に家事をしたりスポーツをしたり、また地域のボランティア活動に参加したりする、などの工夫をすることが大切です。

また、思春期になると、男女とも身体が急速に成長し始めます。不安やとまどいなどがないう、身体の変化について話してあげることが大切です。



見本

かいわ ふ かせく きずな ふか 会話を増やし、家族の絆を深める

1. 家庭とは？

まえむ おや すがた 前向きな親の姿は、
きっと 子どもに 届いている。

ひとり親家庭や共働き家庭では、親が働きながら子育てをするため、子どもとの時間が少なくなりがちです。しかし、子をおもい、より良い将来に、むかって努力する親の姿は、しっかりと子どもたちの心に響いているはずですよ。

また、さまざまな悩みなどは、ひとりで抱えこまず、親類や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や子育てサポーターや子育てネットワークといった、応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用したりしましょう。



ひとりでも 悩まず、前向きに 子育てしよう

1. 家庭とは？

これまでの常識では通用しない
問題が増えている。

子育ての不安、いじめや不登校などで悩みを抱えたとき、配偶者や親・きょうだい・友人などに相談することが多いのですが、それだけでは解決できないときもあります。社会の急速な変化や家庭の多様化から、これまでの教育や子育ての経験だけでは適切な助言が、むずかしい問題も多いからです。そういうときは迷わず専門家に相談しましょう。学校の先生・スクールカウンセラー・家庭教育相談・教育センター・警察の少年相談窓口・子ども家庭センター（児童相談所）・精神保健福祉センター（こころの悩み電話相談）など、さまざまな相談機関があります。

それぞれの特色を知り、相談内容にふさわしい機関を選び勇気を出して相談してみましょう。

時には専門家の知恵を借りる



1. 家庭とは？

あなたの生き方が、
子どもへの最高の教育になる。

これまでは勤勉で従順な人が社会から求められましたが、これからは問題を解決するために自分で考え、工夫し、行動する、勇気ある社会人が求められます。

自分の会社の利益だけでなく家庭や地域、そして社会全体にまで目を配り、積極的にかかわれる人に育てるために、まず親自身がその大切さを理解し、努力・挑戦することが大切です。



より良い社会をつくる努力を
子どもに見せる

見本